

算数オンライン塾 6月10日の問題 解説

(1)

①4桁の数は1桁に3桁を加える→ $\boxed{1} \boxed{456}$

②2桁に2桁の数を加える→ $\boxed{1} \boxed{1} \boxed{23} \cdot \boxed{23} \boxed{23}$

③3桁に1桁の数を加える→ $\boxed{1} \boxed{1} \boxed{1} \boxed{1} \cdot \boxed{1} \boxed{23} \boxed{1} \cdot \boxed{23} \boxed{1} \boxed{1} \cdot \boxed{456} \boxed{1}$

から7通り

(答え) 7通り

(2)

1桁→1通り 2桁 2通り、3桁 4通り 4桁 7通り

次の桁を作るにあたり、3桁を加える場合と2桁を加える場合と1桁を加える場合が考えられます。

5桁の場合は2桁に3桁を加える、3桁に2桁を加える、4桁に1桁を加えるので、 $2+4+7=13$ 通り考えることができ、その前3つの和が答えになります。

したがって6桁は $4+7+13=24$

(答え) 24通り